

平成24年度 群馬県立産業技術センターの利用に関する  
アンケート調査 結果報告書

平成25年11月

群馬県立産業技術センター

## 1 調査概要

### (1) 目的

群馬県立産業技術センター（群馬産業技術センター及び東毛産業技術センター。以下、「産業技術センター」という。）のより一層の利便性の向上を図るため、利用企業に対してアンケート調査を実施した。

### (2) 調査対象

平成24年度（平成24年4月1日～平成25年3月31日）に産業技術センターの技術支援（依頼試験、機器開放、技術相談）を利用した企業。

### (3) 調査方法

「調査票」をFAX（一部企業は郵送）により送付し、FAXにより回答してもらう。

### (4) 調査実施数

調査依頼数、回答数及び回答率は、次のとおりであった。

技術支援項目	調査依頼数	回答数	回答率
・ 依頼試験 ・ 機器開放 ・ 技術相談	2, 925社	641社	21.9%

### (5) 結果概要

アンケート調査の結果、平成24年度の利用企業のうち目的を達成できた企業の割合は、「十分達成できた」と「ある程度達成できた」を合わせると81.0%（77.6%）、「手がかりがつかめた」を加えると98.4%（前年度97.6%）であった。共に前年度の割合を上回り、ほぼ全ての利用企業にメリットがあったと考えられる。

利用企業が得られた経済効果は、1企業あたり約279万円、全体では約81億6,253万円と推計される。

また、今後も産業技術センターを利用したいと考えている企業の割合は、「積極的に利用したい」と「必要のあるときに利用したい」を合わせると99.7%であり、ほぼ全ての利用企業が再度利用したいと考えていた。

## 2 調査結果

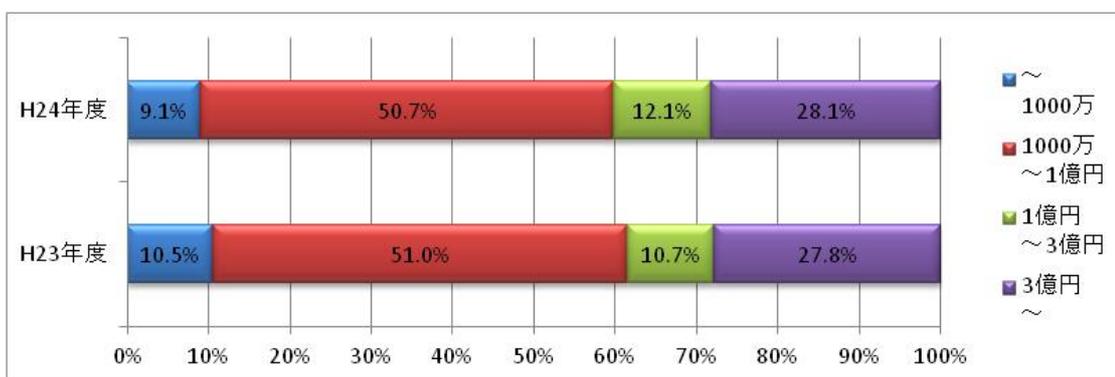
### (1) 利用企業の資本金・従業員数等について

- ・ 利用企業の資本金は「3億円未満」が71.9%、従業員数は「300人未満」が73.1%であり、中小企業の割合が高かった。
- ・ 産業技術センターの利用は、「ほぼ毎年利用している」と「前に利用したことがある」を合わせると78.0%であり、リピーターの割合が高かった。

内訳は、次のとおりであった。

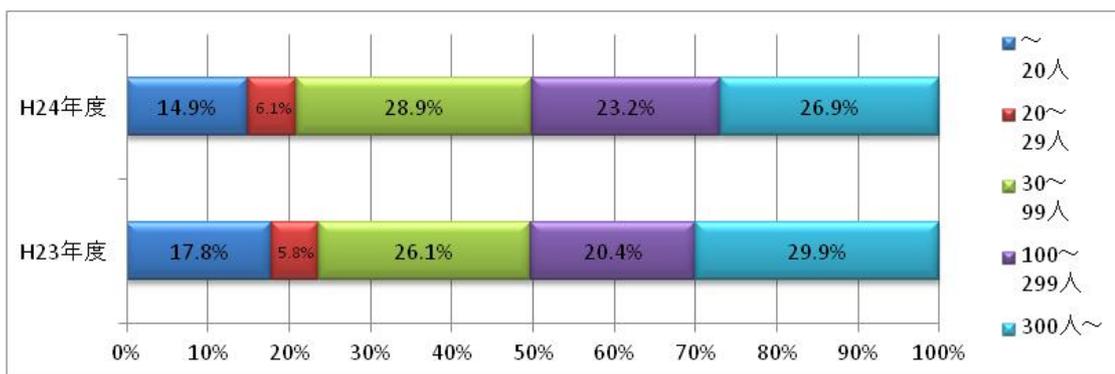
#### ① 資本金について

- |              |       |                  |       |
|--------------|-------|------------------|-------|
| 1. 1,000万円未満 | 9.1%  | 2. 1,000万円～1億円未満 | 50.7% |
| 3. 1億円～3億円未満 | 12.1% | 4. 3億円以上         | 28.1% |



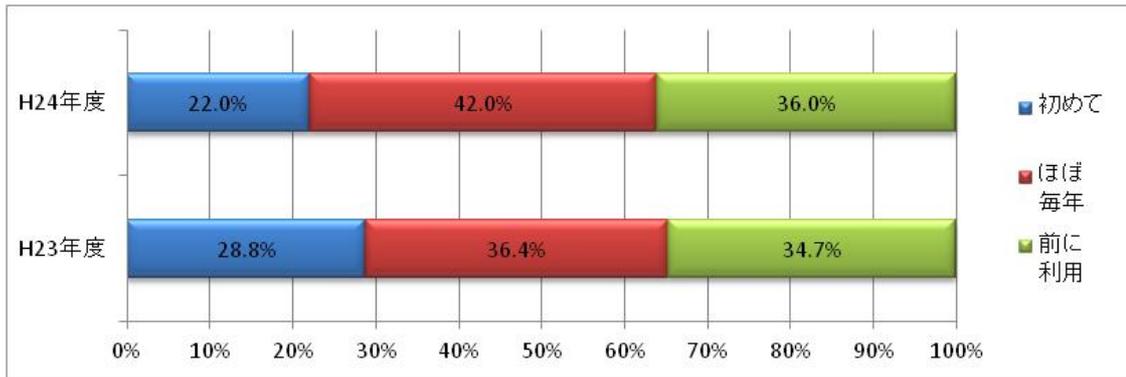
#### ② 従業員数について

- |             |       |           |       |           |       |
|-------------|-------|-----------|-------|-----------|-------|
| 1. 20人未満    | 14.9% | 2. 20～29人 | 6.1%  | 3. 30～99人 | 28.9% |
| 4. 100～299人 | 23.2% | 5. 300人以上 | 26.9% |           |       |



#### ③ 産業技術センターの利用について

- |                |       |           |       |
|----------------|-------|-----------|-------|
| 1. 平成23年度が初めて  | 22.0% | 2. ほぼ毎年利用 | 42.0% |
| 3. 前に利用したことがある | 36.0% |           |       |



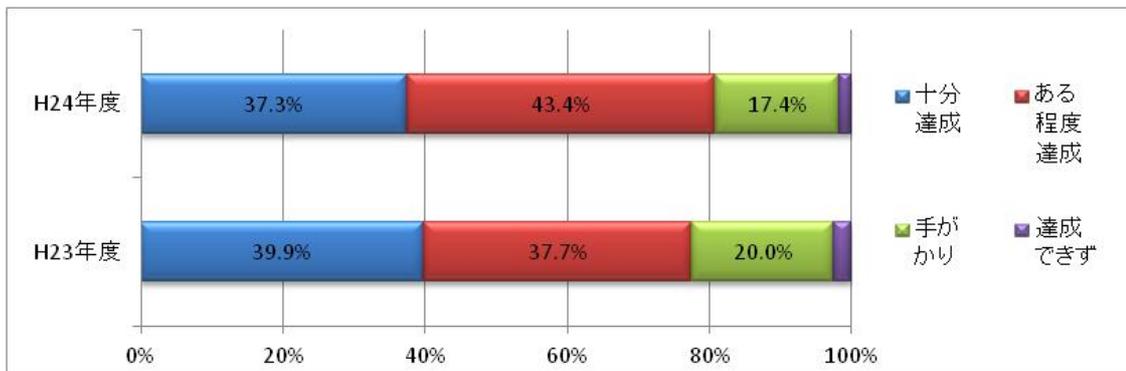
## (2) 利用企業の目的達成度について

- ・ 目的を達成できた企業の割合は「十分達成できた」と「ある程度達成できた」を合わせると81.0%、「手がかりがつかめた」を加えると98.4%であり、ほぼ全ての利用企業にメリットがあった。
- ・ 利用企業が得られた経済効果は、1企業あたり約279万円、全体では約81億6,253万円と推計される。

内訳は、次のとおりであった。

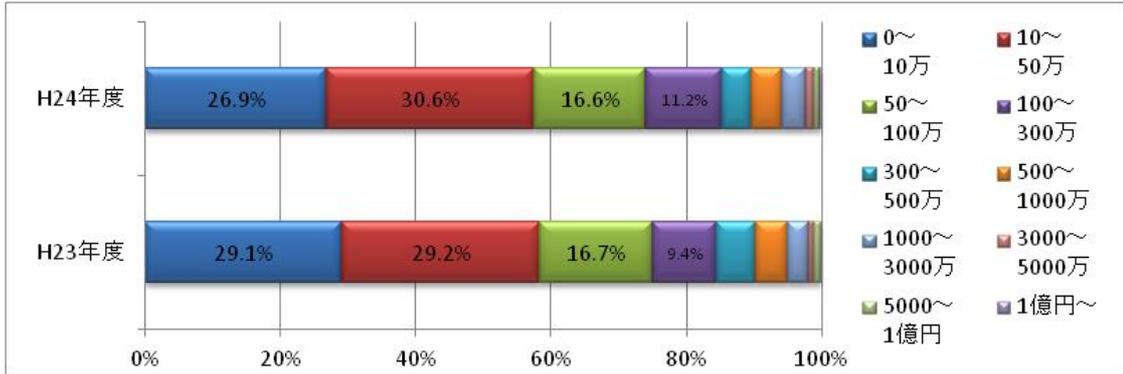
### ① 目的達成度について

- |              |       |              |       |
|--------------|-------|--------------|-------|
| 1. 十分達成できた   | 37.3% | 2. ある程度達成できた | 43.4% |
| 3. 手がかりがつかめた | 17.4% | 4. 達成できなかった  | 1.6%  |



### ② 利用企業が得られた経済効果について

- |                    |       |                    |       |
|--------------------|-------|--------------------|-------|
| 1. 0～10万円未満        | 26.9% | 2. 10～50万円未満       | 30.6% |
| 3. 50～100万円未満      | 16.6% | 4. 100～300万円未満     | 11.2% |
| 5. 300～500万円未満     | 4.4%  | 6. 500～1000万円未満    | 4.6%  |
| 7. 1,000～3,000万円未満 | 3.5%  | 8. 3,000～5,000万円未満 | 1.2%  |
| 9. 5,000万円～1億円未満   | 0.8%  | 10. 1億円以上          | 0.2%  |



利用企業が得られた経済効果について591社から回答があり、1企業あたりの経済効果は約279万円であった。今回のアンケート調査を依頼した2,925社を乗じて換算すると、全体の経済効果は「約81億6,253万円」と推計される。

また、平成24年度の産業技術センターの歳出決算額が、9億1,225万円であることから、「約8.9倍」の経済効果があったといえる。

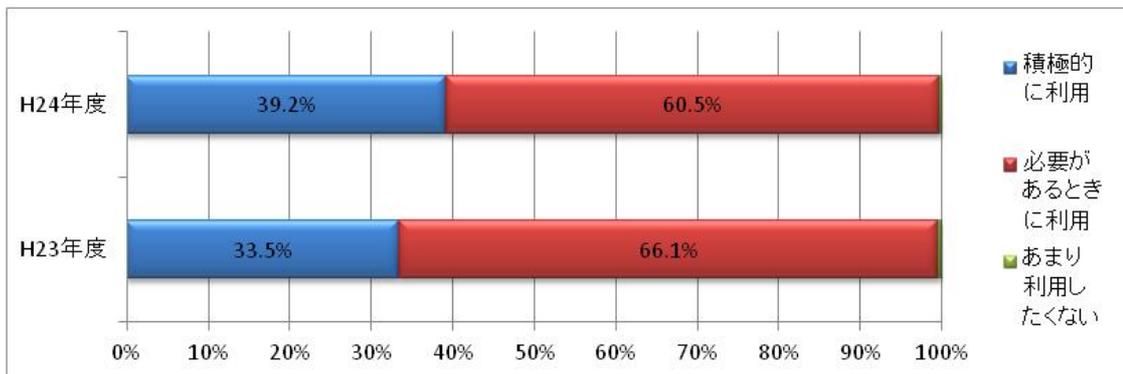
- ③ 未達成の理由については、「試験方法が確立できなかった」、「期限までに結果が得られなかった」、「開発中のため」などの回答があった。

### (3) 今後の産業技術センターの利用について

- ・ 今後も利用したいと考えている企業の割合は、「積極的に利用したい」と「必要のあるときに利用したい」を合わせると99.7%であり、ほぼ全ての利用企業が再度利用したいと考えていた。

内訳は次のとおりであった。

1. 積極的に利用したい 39.2%、2. 必要のあるときに利用したい 60.5%、  
3. あまり利用したくない 0.3%、4. 利用したくない 0.0%



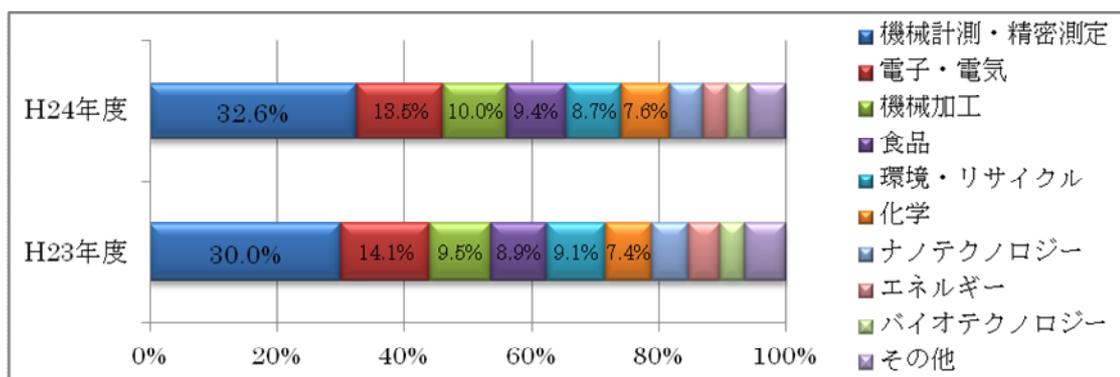
あまり利用したくない理由については、「時間を要する時がある」と回答があった。

(4) 今後、産業技術センターに強化、充実してほしい技術分野について

- ・ 要望の多い技術分野は、「機械計測・精密測定」、「電子・電気」、「機械加工」、「食品」、「環境・リサイクル」の順であった。

内訳は次のとおりであった。

1. 機械計測・精密測定	32.6%	2. 電子・電気	13.5%
3. 機械加工	10.0%	4. 食品	9.4%
5. 環境・リサイクル	8.7%	6. 化学	7.6%
7. ナノテクノロジー	5.2%	8. エネルギー	3.9%
9. バイオテクノロジー	3.3%	10. その他	5.8%



強化、充実してほしい具体的な内容については、次のとおりであった。

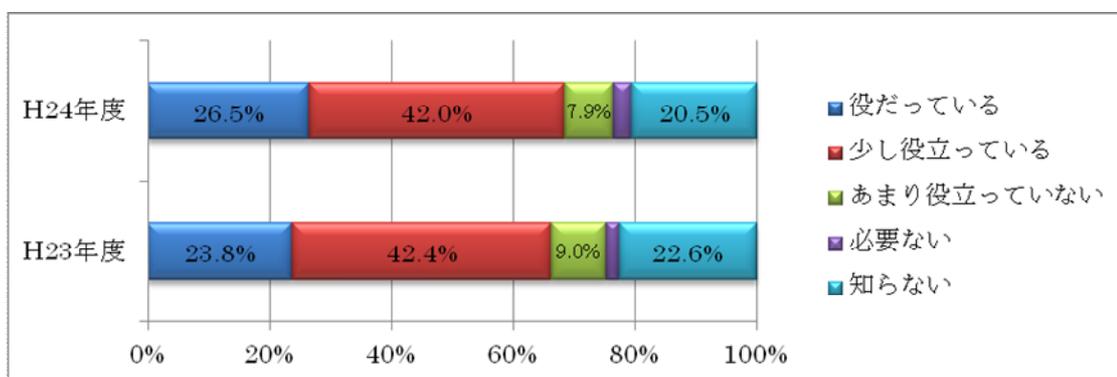
- ・ 機械計測・精密測定では、「各種測定試験」、「高精度・大型計測器の導入」、「X線検査装置の大型化・高精度化」、など。
- ・ 電子・電気では、「電磁波測定」、「電波暗室」、「電気通信」、「マイコン制御」など。
- ・ 機械加工では、「3Dスキャナ・3Dプリンタ」、「金属加工技術」、「工具研削」など。
- ・ 食品では、「微生物検査」、「異物検査」、「食品加工」、「栄養成分分析」など。
- ・ 環境・リサイクルでは、「リサイクル技術」、「水資源利用」、「環境測定」など。
- ・ 化学では、「各種成分分析」、「微小部分析」など。
- ・ ナノテクノロジーでは、「微細構造」、「薄膜・表面処理」など。
- ・ エネルギーでは、「省エネ」、「発電」、「蓄電」など。
- ・ バイオテクノロジーでは、「バイオマス樹脂」など。
- ・ その他では、「IT関係(プログラミング、ネットワークなど)」、「自動車産業」、「軽量化素材」、「熱処理技術」などの回答があった。

#### (5) ホームページの利用について

- ・ 「役立っている」と「少し役立っている」を合わせると68.5%であり、役立っていると感じる割合が高かった。
- ・ 反対に「あまり役立っていない」と「必要ない」を合わせると11.0%であった。
- ・ 「知らない」が20.5%と一定の割合があったことから、今後も継続的にPRしていく必要がある。

内訳は次のとおりであった。

- |               |       |             |       |
|---------------|-------|-------------|-------|
| 1. 役立っている     | 26.5% | 2. 少し役立っている | 42.0% |
| 3. あまり役立っていない | 7.9%  | 4. 必要ない     | 3.1%  |
| 5. 知らない       | 20.5% |             |       |

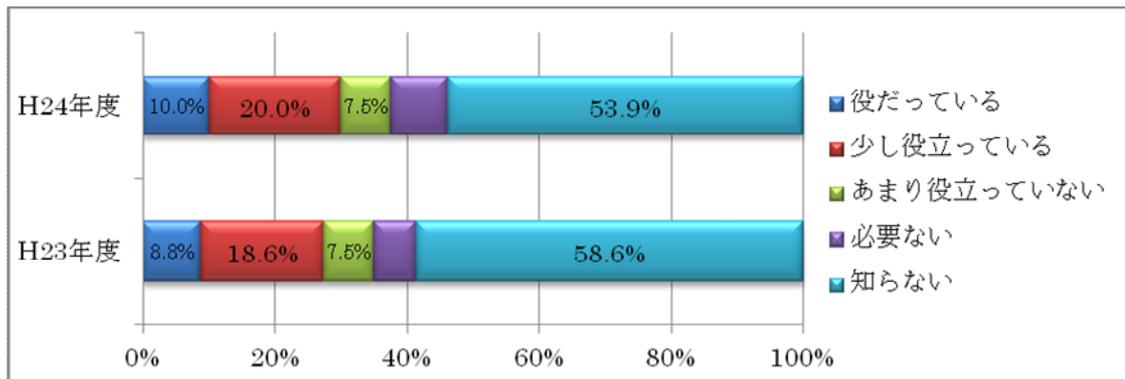


#### (6) メールマガジン（まる得通信）の利用について

- ・ 「役立っている」と「少し役立っている」を合わせると30.0%であり、反対に「あまり役立っていない」と「必要ない」を合わせると16.5%であった。
- ・ 「知らない」が53.9%と過半数を超えていたことから、今後も積極的にPRしていく必要がある。

内訳は次のとおりであった。

- |               |       |             |       |
|---------------|-------|-------------|-------|
| 1. 役立っている     | 10.0% | 2. 少し役立っている | 20.0% |
| 3. あまり役立っていない | 7.5%  | 4. 必要ない     | 8.7%  |
| 5. 知らない       | 53.9% |             |       |



(7) カイゼンテーマ、産業技術センターに対する意見・要望等について

- ・ 最も多かったのは、「職員等への感謝・激励の言葉」であった。
- ・ 以下、「機器・試験項目、セミナー等に関するもの」、「手続きに関するもの」、「利用料に関するもの」、「試験結果に関するもの」、「納期（時間）に関するもの」の順に、多くの意見・要望等をいただいた。
- ・ 産業技術センターとしては、寄せていただいた貴重な意見・要望等を踏まえ、より一層の利便性向上、業務改善に取り組んでいく必要がある。

全体で196件の意見・要望等があり、主なものは次のとおりであった。

- ・ 職員等への感謝・激励の言葉（66件）
- ・ 機器・試験項目、セミナー等に関するもの（35件）  
（IT研修、国際認証対応試験、慣性モーメント測定、分析装置拡充、加工用機器、3Dプリンタ、CTスキャン、放射線量測定機器等の導入要望など）
- ・ 手続きに関するもの（24件）  
（証紙支払いの廃止要望、銀行振込みによる利用料の支払い、ネット・メールでの予約・空き状況の確認 など）
- ・ 利用料（試験手数料・機器使用料）に関するもの（9件）  
（料金の値下げ要望、長時間利用の割引、県外企業の利用料金低減 など）
- ・ 試験結果に関するもの（7件）  
（結果通知書への詳細な分析の記載要望、試験結果に対するアドバイスの要望 など）
- ・ 納期（時間）に関するもの（5件）  
（短納期への要望、利用時間の拡大 など）
- ・ その他のもの（49件）  
（情報提供、ホームページの充実、人員増強の要望 など）